

第3学年 総合的な学習の時間 学習指導案

菊池市立戸崎小学校

教諭 平緒 郁也

1 単元名 紹介したい戸崎のひみつ

2 単元の目標

- 地域の魅力や人々の思いを理解し、それを広めるために自分たちにできることが分かる。
(知識及び技能)
- 地域の魅力や人々の思いについて情報を集め、相手を意識してまとめたり表現したりする。
(思考力・判断力・表現力等)
- 自分が地域の一員であることを自覚し、地域の魅力や人々の思いを多くの人に伝え、広めようとする。
(主体的に学習に取り組む態度)

3 単元について

(1) 教材観

戸崎小学校の校区は、田畑が広がっている一方で、工業団地もあり、全国規模の工場や地域の特色を活かした工場が立地している。また、鎌倉時代ごろから活躍した菊池一族に関連する史跡である「戸崎城」がある。この「戸崎探検隊」では、まず校区内を歩きながら、気になる建物や工場を見つける。そして、実際に見学を行ったり、インタビューしたりすることを通じて、会社や建物に隠された秘密を探っていく。

この学びを通じて、自分が住んでいる戸崎の魅力に気づき、地元に誇りを持つとともに、郷土を愛する気持ちを育むことが期待される。

(2) 児童観

本学級の児童は、前期の社会科「わたしたちの市や町」の学習で、校区内を実際に見て回る経験をした。その際、畑を見て「何を作っているのだろうか」と興味を持っている様子が見受けられた。また、児童の保護者の中には、実際に校区内で農業を営んだり、工場に勤務したりしている者が多いため、地元の企業や農業に対する関心が非常に高いことがわかった。しかし、3年生ということもあり、地元の農作物や企業について詳しく知っている児童はほとんどいなかった。また、菊池一族についても、どんな人々でどんな活躍をしたのか知っている児童はいなかった。

本単元では、地元の企業や農作物、歴史について調べることで、そのすごさや良さに気づかせたいと考えている。さらに、気づいたことを発信したり、学習の経験を振り返ったりすることで、探求学習の楽しさを実感し、主体的に学ぶ意欲を高めてほしい。

(3) 指導観

単元の指導に当たっては、まず「戸崎の魅力を調べ、発信する」という単元のゴールイメージをはっきりさせることで、児童が見通しを持って探究活動に取り組めるようにしたい。ま

た、1，2年生の生活科で地域探検をした経験や、実際に校区を探検することを通して、気になる建物や農作物について意見を出し合い、自分たちが住んでいる地域についてあまり知らないことをわかるとともに、地域にどのような良さがあるかについて関心を持たせ、その後の疑問や課題へとつなげたい。

次に、課題について調べる際には、校区内に工場や畑が多いことに気づかせ、戸崎が工業と農業の両方が盛んな地域であることを知らせる。そして、工場や畑について調べることを通じて戸崎の魅力を知ることができると見通しを持たせ、児童が進んで調べるように促したい。菊池一族については、その概要を児童に知らせることで、その偉大さを実感させ、地域との関わりについて興味を持たせることを目指す。

さらに、自分たちが住んでいる菊池市についても考えを広げ、新聞を作成する際に地域を大切にするために自分にできる取り組みを考え、話し合いを通じてそれを校内や地域で伝えることにつなげたい。

(4) ESD との関連

・本学習で働かせる ESD の視点（見方・考え方）

相互性…自分たちの生活と地域とのつながりに気づき、町の良さや人々の思いを知るとともに、それを自分たちも伝えていくことが大切であること。

・本学習を通して育てたい ESD の資質・能力

他者と協力する力

地域のよさやすばらしさを広めるために、共同学習者やゲストティーチャー等、他者と協力して探究する。

つながりを尊重する態度

探究的な学習を通して他者とつながり、相手を尊重しながら活動する。また、自分と地域とのつながりに気づき、地域への愛着を持つとともに、自分にできることを考え、実践しようとする。

進んで参加する態度

自分が地域の一員であることを自覚し、地域の良さや素晴らしさ、人々の思いなどをさまざまな人に進んで広めていこうとする。

・本学習で変容を促す ESD の価値観

世代内の公正

小学生である自分たちが校区を知り、思いを伝えたり発信したりすることで、感謝されたり結果が出たりすることに達成感を感じる。

・達成が期待される SDGs

11 住み続けられるまちづくりを

4 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①地域の良さや人々の思いを知り、それを広める方法や自分たちができることがわかる。 ②学んだり調べたりして分かったことを、言葉や写真などを用いて関係付けながらまとめることができる。	①身近な人々とのふれあいかから、テーマに沿った課題を見つけ、情報を集めている。 ②探究活動を通して必要な情報を集め、集めた情報を効果的かつ協働的にまとめている。	①「戸崎の魅力を調べ、発信する」という目標に向けて、見通しを持って探究的な学習に取り組もうとしている。 ②本単元で学んだことを今後の生活や学習にどう生かすか考え、自己の生き方を見つめている。

5 単元の指導計画（全22時間）

次	主な学習活動	学習への支援	評価・備考
1	○町探検を行い、課題を設定する。 ・ 大きい工場がある。 ・ 畑ではいろいろな野菜を育てている。 ・ 地域の歴史を知らせる看板がある。 ○目指すゴールを確かめるとともに、学習の見通しを持つ。 ・ 戸崎のすごいところをいろいろな人に知ってほしい	○町探検を行う前に、地元の企業や農産物について情報収集を行っておく。児童が気になったものは後から想起することができるように写真を撮り、タブレットで共有する。 ○単元のゴールイメージとそれに向かう過程を話し合っ決定することで、見通しを持って探究活動に取り組むことができるようにする。	ウ① ア①
2	○調べたいことに関して情報を集める。 ・ 工場や畑で作っているものを知りたい。 ・ 工夫や仕事に対する思いを知りたい。 ○調べたいことに関して実際に見学に行き、インタビューをしたり、ゲストティーチャーを呼び、話を聞いたりする。 ・ すごさを伝えられるようにたくさん情報を集めよう。 ○調べたことを新聞にまとめる。 ・ 特に知ってほしいことは何かな。 ・ 相手に伝わるように工夫しよう。 ・ いろいろな人に読んでほしい	○一人一人が目的を明確にして、見学に行ったりインタビューをしたりすることができるように、児童一人一人に知りたいことをノートに書かせる。 ○地域に足を運んだり、地域の方の話を聞いたりすることにより、自文も地域の一員であることを自覚させたり、地域に愛着を持ったりすることができるようにする。 ○これまでの国語の学習したことを関連させ、構成を考えさせる。また、新聞にまとめる活動の途中でより相手に伝わるようにするにはどうすればよいか話し合わせる。	イ① イ① ア②イ②
3	○作った新聞を地域のコミュニティセンターや物産館などに掲示し、魅力を発信する。 ・ 戸崎の良さを知ってもらえたかな。	○読んだ人には感想を書いてもらうなど、フィードバックを受け取ることで、戸崎の魅力を広めることができたと成果を味わわせる。	ウ②